別紙①



【新商品「リッスントーク」とは】

書籍や教材、いろいろ試したが進歩が実感できない。リアルやネットの英会話スクールで長年習っているが、いまだに言いたいことの半分も話せない。そういった言葉をよく耳にしますが、なぜなのでしょうか？才能のせいでしょうか？

現在、大阪観光大学准教授で英語教育のスペシャリストである池田和弘先生は、これには「３つの理由」があると明言しています。この「英語をマスターできない3つの問題」を解決できれば、学習効果と手ごたえが圧倒的に変わっていきます。やればやるほど「努力」が確実に「成果」に結び付くため、学ぶことがとても楽しくなり、さらに学びたくなるという好循環が生まれます。その結果、英語を身につけることで、ワクワクするような新しい世界が目の前に広がります。つまり、目の前に、世界とつながる「新しい扉」が開くのです。

英会話の基礎がしっかりとでき、進歩が実感できれば、たくさんの人を勇気づけることができる、もっともっと人生の可能性が広がる、それはいずれこの日本という国の活性化にもつながっていくはずだ―― その想いを胸に、池田先生は３０年以上にもわたる経験と知識を統合し、「だれもが英会話への大切な一歩を確実に踏める教材」を研究・開発しました。

　「学習者に優しい」（learner-friendly）をベースに、英会話ができない理由を徹底的に分析し、それを解決した英会話教材。　それが、英会話特化型ハイブリッド教材、「リッスントーク」なのです。

【池田和弘先生の開発コンセプト】

これまで池田和弘先生が開発した、スピーキングに特化した英会話教材においては、一般の学習者だけでなく、プロの英会話教師などからも幅広い支持を得ていますが、英会話ができるようになるためには「話す」だけでなく、「聞く」という、もうひとつの高いハードルをクリアーしなければなりませんでした。そこで、この数年間、池田先生は開発顧問として、elifet International Academyにて多くの実証を行ってきました。そして、「なぜ日本人が英語を話せないか」の理由を分析し、脳科学に基づく最新のバイリンガル・メソッド（ハイブリッド・メソッド）を確立しました。このメソッドを教材に落とし込むことで、これを少しでも多くの日本人が利用でき、英会話の高い壁を越えるための後押しが出来るのではないかと考えて開発に取り掛かり、ようやくこうして英会話特化型のハイブリッド教材、「リッスントーク」が生まれたのです。　この開発のベースにも、一貫した理念があります。それが「学習者に優しい」です。徹底的に学習者の視点に立ち、だれにでも「最小の努力で最大の効果」を生み出せる教材や教授技術を追求するという考え方です。私たちを悩ませる数々の問題を、だれにでもできる最もシンプルな方法で解決する――

それが池田先生の熱い想いです。この実現のため、池田は教育言語学や応用言語学、さらには人間の脳の情報処理（PDP）、脳内の電子モデルにわたるまで、あらゆる観点から研究を進めてきました。理系的な発想で英語学習を斬る、これがとてもユニークなところです。

【英会話をマスターできない３つの問題とは】

英会話のできない3つの理由とは①リスニングとスピーキングを区別して学習していない②確実に聞き取れる英語で学習していない③英語は日本語と全く異なることを理解できていないことです。

これらの３つの理由を解決するためには、［1］リスニングに特化したトレーニングとスピーキングに特化したトレーニングの両方を用意する　［2］聞き取りやすい音声で、英語をしっかりつかむ　［3］英文を頭から理解できるように工夫したトレーニングを行うということが必要となります。

1. ほとんどの人が見落としている点、それは、英会話は「相手」の言うことを聞き取るリスニング力と「自分」の言いたいことを話すスピーキング力の２つの能力があって初めて成り立っているということです。そして、 リスニングは、相手次第であり、何をどのように言うかを私達はコントロールできません。そのため、速い英文、つまり「ネイティブの英文」を聴き取れる必要があります。一方で、スピーキングは私たちがコントロールできます。そのため、短い英文をしっかりと覚えて使うようにする方がはるかに有効なのです。つまり、リスニングとスピーキングは全く異なる能力なので、区別して練習しなければならないなのです。　ところが、ただ区別して学習し、「勉強する英文の間に密接なつながりがない」と、効果が悪くなります。人間の脳はコンピュータと違って情報を関連づけ、ネットワークで覚えるのが得意だからです。

リッスントークはこの点を解消し、「聞く」と「話す」を区別しつつ、それらを密接に関連づけていますので、最高の成果を生み出すことが可能です。　リッスントークが、「ハイブリッド教材」と呼ばれるのはこのためで、これまでの４～５倍ぐらいのスピードでリスニング力とスピーキング力を同時に身に付けていくことができます。

1. 誰もが「ナチュラルな英語」にあこがれます。しかし、ナチュラルな英語だけを何度繰り返し聞いていても、聞こえる様にはなりません。特に初心者には無謀ともいえるほど高いハードルなのです。この問題は、単に速度を落とすだけでは解決できません。しっかりとした「ポーズ」を入れた特殊なスロー音声で英語を吸収していく必要があります。言葉の学習は、まず「音をしっかりとつかむ」ことが必須なのです。初めからナチュラルスピードでは、はっきりと音を聴き取ることができないので、結局身に付かないのです。　「リッスントーク」では、特殊なスロー音声を使うことで、誰もが、「つかみやすく、頭に残りやすい学習」ができるようになっています。
2. 英文は頭から理解することが大切です。　このための方法として、「意味の塊」ごとに英文を切って訳す「チャンク訳」という方法がありますが、これは区切り方が大ざっぱ過ぎるため、本当の意味で英語を頭から理解することはできません。

リッスントークでは、不自然にならないギリギリのところまで、細かく英文を区切って訳をつける「区切り訳」を用意し、英語の語順で理解できる能力が身に付くように工夫されています。　また、決まり文句はなるべく区切らず、そのまま学べるようにも配慮しています。

【脳科学と「リッスントーク」について】

「リッスントーク」には脳科学的な秘密もあります。「英語を英語で理解する」という考え方だと、とても時間がかかり、実際には海外に何年も住まないと難しいことですが、母語（日本語）を活用すると、はるかに速く確実に会話力を養うことができます。理論的にいうと、人間の脳はネットワーク的な情報処理が特長で、私たちの頭の中には、とても複雑な「日本語の回路」が存在しています。そのため、この回路を利用して、その上に「英語の回路」を作るようにすると、最小の学習で最大の効果を得ることができるのです。

また、英語と日本語の順序が合理的になっています。つまり、リスニングのトレーニングでは、英語から日本語という順序で録音されおり、英語を瞬時に日本語へ変換し、理解するという練習を行います。それに対して、スピーキングのトレーニングでは、日本語から英語の順序で録音されており、日本語で考えたことを瞬時に英語へ変換し、話すという練習を行います。　このような音声配置がリッスントークの高い学習効率を実現しているのです。

【「リッスントーク」の３つの工夫】

1. シンプルな文法解説

英会話では文法はほとんど必要ありませんが、もっとも基本となる点をいくつか理解しておくと、より深く正確に英語を理解することができるようになります。　リッスントークには、日本人の盲点や苦手とする点について、分かりやすいシンプルな文法解説が付けられており、ネイティブの感覚で英文を理解することができます。

1. クイック発音トレーニング

正確な発音は、通じる英語を話す上でとても大切です。リッスントークでは、日本人が苦手な音にフォーカスしたシンプルな解説と練習が付いています。　さらに、英語的な口の筋肉を鍛えるため、重要な発音をすべて練習できる「クイック発音トレーニング」が付いており、毎回の学習の前に行うことで、短期間でネイティブ並みの発音を身に付けることができるようになっています。

1. ストーリー仕立て

人間は、つながりのないバラバラの情報よりも、ネットワークのようにつながりあった情報を記憶するのが得意です。そのため、リッスントークでは教材全体をストーリー仕立てにし、チャットのやり取りなどもストーリーに加えて、記憶に深く残るように工夫されています。

【「リッスントーク」のサポート体制】

1. 英語学習をするにあたって、学習方法や質問などを気軽にできる無料電話サポート

電話番号06-6152-8830　　対応時間12:00～20:00 （土日祝日を除く）

1. 学習の効果をチェックしたり、覚えたことを実際に使って会話できたりする無料オンラインレッスン。大手のオンライン英会話「hanaso」との提携により学習スタートから1か月間（4回）の無料レッスン。2ヵ月目からは特別会員価格にて継続受講可能。
2. 音声認識プログラムによる発音、イントネーションチェック。HOYAとの提携により、有償でチェック可能。
3. Bright Eggs　オフィシャルサイト (http://bright-eggs.com)より、質問や相談に応じます。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上